

都小社研6年部会 検証授業2

《都小社研の研究主題》

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～

《6年部会の目指す児童像》

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解を基に、社会的事象の意味や特色について多角的に考え、我が国の未来を考えようとする子供の育成

《仮説》

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解につながる問いや、学習したことを基によりよい社会をつくろうとするための問いをもてるように教材や学習活動を工夫すれば、多角的に考え我が国の未来を担う国民としての自覚をもとうとする子供が育つであろう。

《6年部会の研究内容の重点》

内容①	内容②	内容③
○問いの連続性や構造化 ・単元内、単元相互における問いの関連性の工夫 ・議論を通して考えを深める問いの設定	○比較・分類・統合したり総合したり国民(地域)の生活と関連付けて考える学習活動の工夫 ○対話を通して多角的に考える学習活動の工夫 ・社会における対立や矛盾、葛藤を感じる場の設定 ・多様な価値について立場を決めて話し合う場の設定	○学習の見通しと振り返り(集団的な学習調整)の工夫 ・ノートやワークシートの書かせ方・見取り場面の設定 ・既習を生かして新しく問いを見出す場面の設定

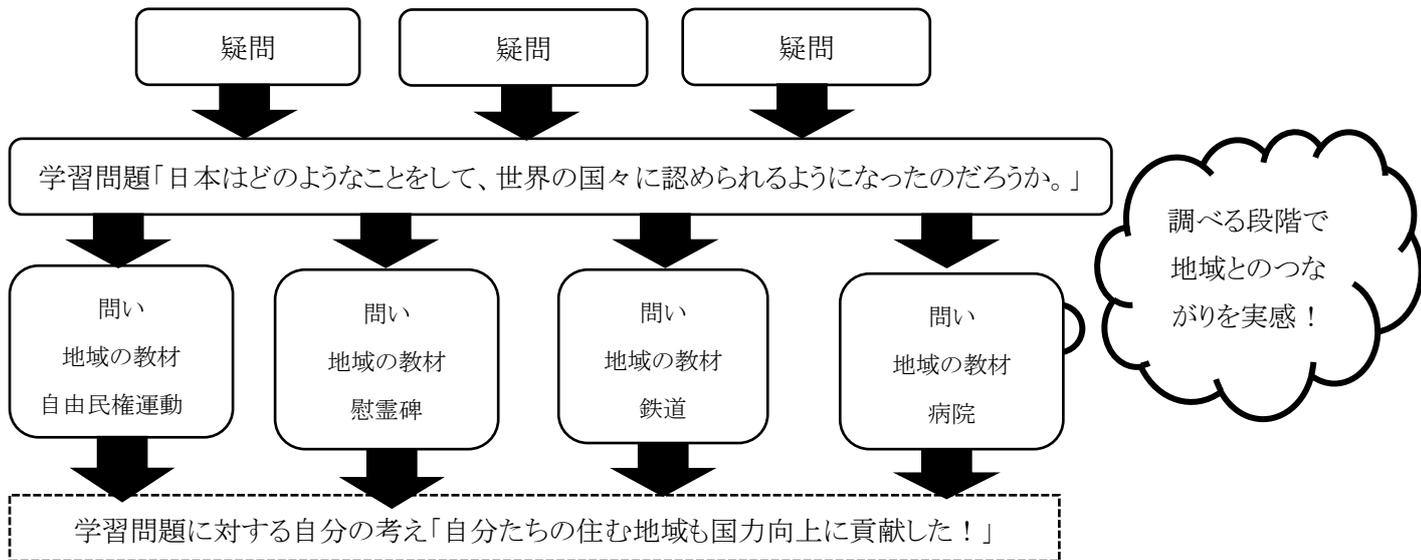
①問いについて・・・「単元内における問いの関連性の工夫」

「不平等条約の改正が必要だ！」という問題意識を高め、そのためにはどのようなことが必要なのかを予想し、「世界で認められるための取り組み」という問いの軸をもつことができるようにした。

毎時間の学習内容を相互に関連付け
ながら学習を深めていく！

②学習活動の工夫・・・比較・分類・統合したり総合したりし国民(地域)の生活と関連付けて考える

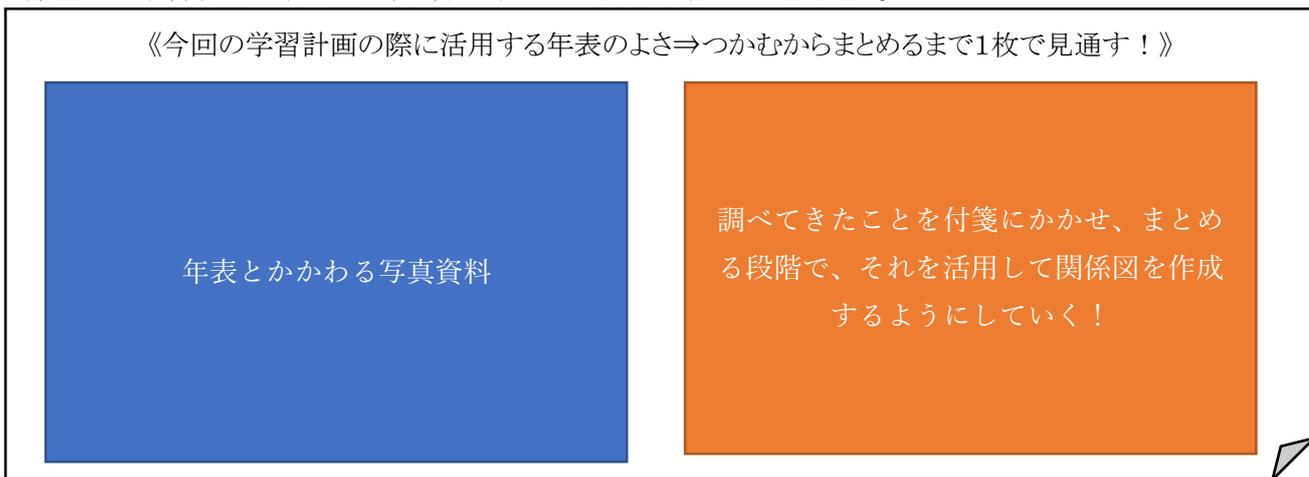
調べる段階(本時を含む)では、学習内容と自分たちが住んでいる地域とのつながりが分かる資料を活用する。そうすることで、歴史的事象と国民(地域)の生活と関連付けて考えられるようにした。



学習を積み重ねるごとに、より当時の人々の姿や具体的な動向を捉えられるようになり、歴史を身近に考えられるようになる。

③評価の工夫・・・学習の見通しと振り返り(集団的な学習調整)の工夫

学習計画づくりにおける年表を活用した問いの関係図を作成し、それを基盤に毎時間のまとめや振り返りを共有することによって、自分たちの学びの位置を確認したり計画の見直しを図ったりできるようにした。そうすることで、集団での学習調整の場が整い、自分の学びの足跡も明確になると考えた。



学習したことをいかし、調べてきたことを振り返り、関連付けさせながら、見通しをもって自分の考えをまとめ表現させたい!